

# 令和元年度学校運営協議会のまとめ

## 1 学校運営協議会の成果

学校園・家庭・地域の連携が一層深まり、地域総がかりの教育を実現するための取組の充実が進んでいます

### 主な取組

- ・校内の環境整備や登下校の見守り等、PTAやボランティアと協働した取組を充実させることができた。
- ・地域の様々な人の協力を得て、地域一斉あいさつ運動などを行うことができた。
- ・生徒指導面での情報交換を行うことで、生徒への地域での声かけが増え、問題行動が減少した。
- ・学校の情報発信の方法について意見を聞き、取組につなげることができた。
- ・トライやる・ウィークの新規事業所の開拓に向けての助言を得ることができた。
- ・次年度に控える周年事業に向けて協力体制を築くことができた。

## 2 学校運営協議会の運営の工夫

幅広い意見をより多く集約できるよう、各学校運営協議会において様々な工夫が行われました

### 主な工夫

- ・学校運営協議会と校区青少年健全育成連絡協議会を同日に開催し、両会合を連携して幅広く意見を聴取・検討する機会とした。
- ・中学校オープンスクールにおいて、中学の道徳参観と小学校6年生の合同授業を同日に実施し、ユニットの小中の授業を見ていただけるよう工夫した。
- ・学校運営協議会委員用の名札を配付し、委員が日頃の教育活動をいつでも参観できるよう工夫した。

## 3 課題について

今後のさらなる充実に向けて、一層の情報発信やボランティア活動をコーディネートする人材の確保が求められています

- ・地域ができることと学校が希望することを調整する、コーディネート機能の強化が必要である。
- ・学校運営協議会の設置の意義や取組内容を情報発信するとともに、委員だけでなく、様々な方からの幅広いアイデアの獲得が必要である。
- ・これまでのユニットでの成果を生かすために、ユニット推進部会との意見交換等、協働体制を確立する必要がある。